

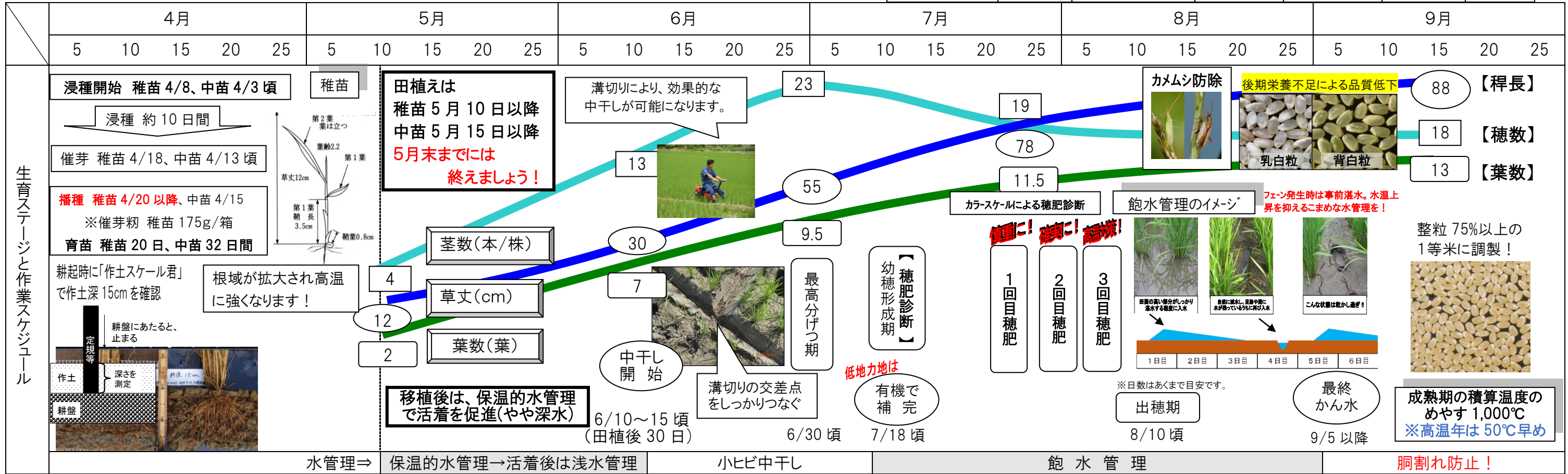


変動気象に耐えられる後期栄養確保・土づくり・作期分散と基本技術の実践で高品質米生産！
品質と安全性で信頼される環境保全型稲作「エコ・5-5 運動」をさらに前進！

【エコ・5-5 コシヒカリ目標値:1 等米比率 90%以上、整粒歩合 75%以上、玄米タンパク質 5.5~6.0%】

■目標収量と収量構成要素

収量 (kg/10a)	穂数		1穂粒数 (粒)	㎡当り粒数 (千粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
	(本/㎡)	(本/株)				
450	320	18(60株セット)	75	24	88	22.0



■使用肥料と施肥の目安

区分	肥料名	使用基準	10a 当り施用量		
			砂質土壌	中間	粘土質土壌
土づくり	みやぎ有機(完熟発酵ケイフン) 牛ふん堆肥、豚ふん堆肥	選択	45kg	45 kg	0~30kg
	①みつパワー ②ようりん(粒) ③ケイカル ④ニュー米スター ⑤マルチサポート Fe ⑥農力アップ		0~500 kg	①60~120kg ②40~80 kg ③120~160 kg ④30kg ⑤40~60 kg ⑥60~100 kg	
育苗	稚苗苗代配合	—	30g/箱 × 18 箱*		
田植前追肥	くみあい液肥2号	いずれか	270g(18~23 箱)*		
	べんとう肥	1 資材	360g(18~23 箱)*		
基肥	味好 2号、フジミペレット 731、 みらい有機 831	選択	30kg	0~20kg	—
	越後の輝き有機 50	いずれか 1 資材	30kg*		20~30kg*
	フレバ・ペ・スト 734		42kg*		29~42kg*
全量基肥肥料	越後の輝き有機 50 スーパー元肥ロング*		40~47*	35~47*	30~47*
ケイ酸肥料 追肥・根活性	スーパーシカ、けい酸加里プレミアム 34、 ウォーターシカ、ファイトアップ	選択	15~40kg(ファイトアップ 500g1袋 10袋)*		
穂肥	味好 2号、フジミペレット 731	出穂 23 日前頃	20kg	0~20kg	—
	フェザー-MAX、みらい有機 831	出穂 3 日前迄	15kg	0~15 kg	—
	けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥	出穂 18-15 日前頃 出穂 10 日前頃 出穂 3 日前迄	穂肥診断により 0~8kg 原則 10kg 高温・葉色低下予想時 7kg	合計 25 kg*	

*; 上限値。但し、基肥量が上限値未満の場合(分施・全量基肥肥料とも)は、化学合成窒素成分の残量相当量を穂肥として追加施用することが可能です。詳細な施肥量はお近くの営農センターに相談してから施用して下さい。

■使用可能な農薬と使用回数 決められた農薬を予防重点で使用してください。

区分	農薬名	使用	使用回数の制限
種子病害の予防剤	タフブロック	必須	—
初期害虫・いもち病の予防剤	GP オリゼリディア箱粒剤	必須	1回(JA 苗処理済)
水田 除草剤	初期除草剤	選択	いずれかの薬剤 1回
	一発処理剤	必須	いずれかの剤型 1回
	ヒエ専用 中期除草剤	選択	いずれかの剤型 1回
	広葉雑草 中期除草剤	選択	本剤使用の場合はクインチャー 及びハサグラン単剤の使用不可 いずれかの剤型 1回
カメムシ類の防除	スタークル液剤 10	必須	いずれかの剤型 1回 無人ヘリ防除区 個人防除区
	スタークル 粒剤・豆つぶ		
稲こじ病予防剤	ドイツホルド-A又はZホルド(粉剤 DL・水和剤)	選択	—
紋枯病防除剤	バリダシン液剤 5・粉剤 DL・エア-	選択	いずれかの剤型 本田5回以内
いもち病防除剤	カスミン液剤	選択	本田2回以内

※農薬を使用する際は、必ず最新の使用登録内容を守ってください。(農薬確認 令和7年2月21日)

■注意事項
 ①生産工程管理において、著しくJAの栽培指導を逸脱した場合は、「JA米」としての取扱いをしません。②栽培管理における各作業や、肥料・農薬の使用日・使用量等は「栽培管理記録簿」に記載し、指定された時期までに必ず提出して下さい。
 ③「栽培管理記録簿」とあわせて、種子の保証書や生産資材の購入伝票を保管してください。④JA米としての要件は、JAと出荷契約を締結、種子更新 100%、2等以上に格付けされた米穀、栽培管理記録簿を確認した米穀、検査時水分 15.5%以下です。
 ⑤JA米とJA米以外の米穀は区分して収穫・出荷をお願いします。⑥JA米として出荷された米穀は、JAでの確認後、JA米印が押印され、JA米以外の米穀と区分して扱われます。
 ⑦なお、JAの確認により、JA米の要件を満たさないと判断された場合は、JA米として流通されません。